

科目名	看護コンサルテーション, Nursing Consultation
授業形態	講義・演習
標準履修年次	1・2年次
実施学期・曜時限等	春学期 BC 木曜日3・4限
実施場所	共同利用棟B204
単位数	2単位
担当教員名	森 千鶴 Mori Chizuru 竹熊カツマタ麻子 Asako Takekuma Katsumata 非常勤講師: 風間郁子 Kazama Ikuko 北野 進 Kitano Susumu 綿谷恵子 Wataya Keiko
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	なし
オフィスアワー等	4B棟502室  オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること mori@md.tsukuba.ac.jp
授業の到達目標 (学習成果)	1. コンサルテーションの基盤となる知識を修得する 2. コンサルテーションの機能と専門看護師の役割を理解する 3. 各領域におけるコンサルテーションの事例の分析方法を理解する 4. コンサルテーションの実際について説明できる 5. チーム医療によるコンサルテーションにおける専門看護師の役割と機能を理解できる 6. 討議を通して専門看護師が実施するコンサルテーションの今後の課題や方向性について考え、自らの意見を述べるができる
他の授業科目との関連	専門看護師養成課程履修者の専門基礎科目に位置づける
履修条件	専門看護師養成課程履修者は必修
授業概要	専門看護師に必要なコンサルテーションの概念、過程、タイプとモデル、技法、チーム医療におけるコンサルテーションの機能と専門看護師の役割、コンサルテーションの実際について学び、討議をとおして理解を深める
キーワード	コンサルテーション、コンサルテーションのプロセス、組織へのコンサルテーション、クライアント中心のコンサルテーション
授業計画	プリントを配布し、それに沿って進める。なお、演習の時間を設ける。 1 (4/18) (コンサルテーションの概念、過程、モデル) (森 千鶴) 2 (4/25) (コンサルテーションにおける事例分析) (森 千鶴) 3 (5/16) (組織へのコンサルテーション①) (綿谷恵子) 4 (5/23) (組織へのコンサルテーション②) (綿谷恵子) 5 (5/30) (管理者中心のコンサルテーション①) (竹熊カツマタ麻子) 6 (6/6) (グループコンサルテーション①) (風間郁子) 7 (6/13) (グループコンサルテーション②) (風間郁子) 8 (6/20) (管理者中心のコンサルテーション②) (北野 進) 9 (6/27) (クライアント中心のコンサルテーション) (森 千鶴) 10 (7/4) (チーム医療におけるコンサルテーション) (森 千鶴)
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	講義(50%)と演習(50%)を併用する  毎回課題を課すので、担当の日に発表をする 関連の文献を事前に読んでおく 授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること

成績評価方法	(1)2/3以上の出席を以て評価を受けることができる (2)各担当教員の持ち時間に応じて評価を行い、合算する なお、A+～Cの評点は各担当教員の点数に基づいて行う
教材・参考文献・配布資料等	毎回プリントを配布し、それに沿って進める 参考書:リエゾン精神看護－患者ケアとナース支援のために、野末聖香編著、医歯薬出版、5184円(税込み)
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	・コンサルテーションに関する文献を講読する ・積極的に討議に参加する